



春闘共闘 情報

発行
2025年
5月20日

長野県国民春闘共闘委員会

長野市県町593 Rinks593

TEL026-217-9071 Fax026-217-9073

✉ krn@mx2.avis.ne.jp

第96回

メーデー特集

第2弾

5月1日、県内各地でメーデー集会が開かれ、県内12会場で約2,600人が参加しました。



佐久



須高



大北



諏訪地区メーデー集会は5年ぶりに開催され、会場の高島城に200名が結集。これはコロナ前の150名を超える規模です。

諏訪地区労連は、コロナ禍と重なる時期に役員体制が整わず、活動が停滞していましたが、細尾議長の支援も得て再出発に向けた話し合いを重ねてきました。

集会開催にあたっては未加盟の組織にも参加を広く呼びかけました。民医労や高教組などの加盟労組に加え、未加盟の福保労ひまわり保育園労組、富士見高原病院労組も参加し、諏訪日赤労組からはメッセージが寄せられました。多くの来賓や民主団体の参加もあり、地域の連帯が広がる集会となりました。

「第96回佐久地区統一メーデー」は、『労働者の団結と地域みんなの連帯で、生活と権利、平和と民主主義を守ろう』のメインスローガンを掲げ、「佐久市民交流ひろば」で開催されました。佐久地区労連と佐久地区評の20組合、15地区団体・組織、500名の参加となりました。



集会前アトラクションでは、「世界をつなぐ花の輪全国一律！サイチン音頭」他7曲を「佐久ラブ&ピース」が力強く歌いあげ、「晴れた五月」の全員合唱で開会しました。リレートークに「は8組織・団体・野党が、「春闘と団結の力」「職場と社会を変えよう」「政治を変えようの声を大きく」などが訴えられました。

恒例のプラカード・デコレーションコンクールでは、9団体が参加し、「国労佐久地区協」のアイデアたっぷりのデコレーション、華やかさと痛切な訴えの圧倒的な数の「長厚労佐久総合病院支部」のプラカードが注目を集めました。

集会後、ステージからのシュプレヒコールをバックに長蛇の列となり、「賃金・待遇改善」「政治を変えよう」「戦争やめろ」等、スタンディングアピールしました。



「第96回松本地区メーデー」は、松本市花時計公園にて開催されました。準備の段階からメーデーニュースを発行し、参加を促し、盛り上げていきました。当日は200人以上の参加となり、熱気あるメーデーとなりました。鈴木議長は、8時間労働制を求めたメーデーの起源に触れ、労働者が自由な時間を求めて立ち上がった歴史を紹介し、「今なおこの課題は続いている」と訴えました。

教育現場から「過重労働や施設の老朽化について」、ケア労働者からは「人員不足や低賃金などの実態」が語られ、改善を求める訴えが相次ぎました。

集会では多彩なプラカードが並び、表彰もされるなど、とても盛り上がりました。集会後にはパレードが元気に行われました。

